

2023年卒採用の見通し



企業は2023年卒の採用活動をどのように見通しているのだろうか？

採用予定数は増える見込み

次に、2023年卒採用についての企業の見通しを見る。
企業に、2023年卒採用について採用予定数を聞いたところ、平均30.7人という結果に(表①)。2022年卒の平均28.5人から2.2人増加した。従業員規模別に見ても、どの規模でも増加しており、企業の採用意欲が増加傾向にあることが分かる。

2022年卒と比較した2023年卒の採用基準については、「2022年卒並み」が80.0%で最も高く、「厳しくなる」は8.9%、「緩くなる」は2.5%だった(表②)。

なお、2022年卒においては、2021年卒と比較して採用基準を「厳しくした」が19.5%で「緩くした」の2.6%に比べ高く、特に、従業員規模「1000~4999人」で26.9%、「5000人以上」23.2%と、大手企業において厳しくなっていた。これは、新型コロナウイルスの流行により採用数を絞ったこ

とによるものと考えられる。2023年卒においては、「厳しくなる」は減少し、「前年並み」が大半となったが、採用数の増加傾向などから内定者確保の難易度が上がることが想定される。

応募人数は、4社に1社が「増える」と予測

応募人数、選考辞退人数、内定辞退人数、採用活動に費やす総費用について、2022年卒採用と比較した見通しを聞いたところ、いずれも「増える」が「減る」を上回った(グラフ③)。特に、応募人数は、およそ4社に1社にあたる24.0%が「増える」と見通している。

また、応募人数、選考辞退人数、内定辞退人数については、Web面接実施企業の方が、非実施企業に比べて「増える」と答えた企業の割合が高く(応募人数：Web面接実施25.6%、非実施17.9%/選考辞退人数：Web面接実施13.9%、非実施10.6%/内定辞退人数：Web面接実施

14.8%、非実施11.2%)、オンライン化における「学生の動機づけ」の課題感がうかがえる結果となった。

採用プロセスは、さらに早期化する見込み

次に、採用スケジュールの見通しを見る。
未定回答を除いた2023年卒の採用プロセスの開始予定時期は、面接(対面)、面接(Web)、内々定・内定出しとも、「2022年2月まで」という企業が2022年卒実績に比べて増加し、採用プロセスの早期化がうかがえる(グラフ④)。

具体的には、面接(対面)では「2022年2月まで」が25.0%で4社に1社に上り、前年実績(12.8%)と比べても12.2ポイント増加した。面接(Web)では、「2022年2月まで」が33.6%で3社に1社となり、前年実績(21.9%)に比べ11.7ポイント増加。内々定・内定出しでは「2022年2月まで」が18.5%で、前年実績(9.0%)に比べ9.5ポイント増加した。

また、「2022年5月まで」という企業も前年実績に比べて

増加。特に面接は、面接(対面)が89.8%(前年卒差+10.8ポイント)、面接(Web)が94.7%(同+6.1ポイント)、およそ9割に上った。さらに、内定・内々定出しも約8割が2022年5月までに開始を予定している。

開始のピークは、面接(対面)、面接(Web)、内々定・内定出しともに、「3月」で、いずれも前年を上回る割合となった。他方で、「4月」「5月」の割合は、いずれも前年より減少していることから、例年に比べて3月の選考プロセスが重複し過密化することが予想される。

これらの見通しや、オンライン化による選考プロセスの効率化や学生の応募・選考参加のしやすさが進んだ2022年卒の状況からも、2023年卒の採用選考においては、企業・学生ともより短期間で多くの選考が進むことが見込まれるだろう。その結果、学生は3・4月の予定が過密になることが、企業は2022年卒同様に選考・内定辞退が多く生じることが考えられる。

企業 採用予定数は増加傾向

① 2023年卒と2022年卒の採用予定数比較

※2022年卒採用実施かつ2023年卒採用実施予定企業/実数回答

	①2023年卒	②2022年卒	①-②
全体	30.7人	28.5人	2.2人
従業員規模別			
300人未満	6.6人	6.1人	0.6人
300~999人	17.1人	15.0人	2.1人
1000~4999人	43.4人	39.4人	3.9人
5000人以上	155.7人	152.9人	2.8人

企業 採用基準は「2022年卒並み」が8割

② 2022年卒と比較した2023年卒の採用基準

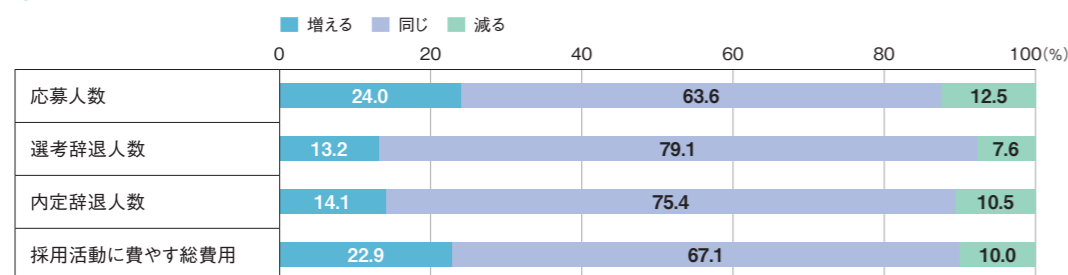
※2022年卒採用実施企業/単一回答

	厳しくなる	2022年卒並み	緩くなる	未定
全体	8.9%	80.0%	2.5%	8.6%
従業員規模別				
300人未満	9.0%	76.8%	1.6%	12.6%
300~999人	9.5%	81.8%	2.5%	6.3%
1000~4999人	8.8%	80.9%	3.6%	6.7%
5000人以上	6.1%	83.8%	2.0%	8.1%

企業 応募人数、選考辞退人数、内定辞退人数、活動費用は、すべて「増える」が「減る」を上回る

③ 2022年卒と比較した2023年卒の採用の見通し

※2022年卒採用実施企業/単一回答



企業 未定を除き「5月までに面接開始」が約9割。採用プロセスの開始予定時期も早まる見通し

④ 2023年卒の採用プロセス開始予定時期

※新卒採用実施または実施予定企業/実数回答
※「未定」を除く
※2022年卒は実績を掲載

